

1) 会員管理

R1年度会員数(2020年3月31日現在)

会員種別	H30年度末会員数 (H31.3.31)	R1年度入会者数	R1年度退会者数	R1年度末会員数
個人会員	634	35	39	620
学生会員	247	108	85	195
海外会員*OECD	3	0	0	3
海外会員*OECD以外	1	0	0	1
法人会員	6	0	1	5
名誉会員	12			12
計	903	143	125	836

* 上記集計はメール・郵便物不達者を除いた数。個人会員資格喪失者(過年度未納2年):15名を除いた数。

* 学生会員2名がR2年度より個人会員へ

* 学生会員195名は、資格継続確認に未回答の180名を含む(回答:15名継続、59名継続なし)

* R2年度の会費請求並びに会員証発送は、4/6送付済(法人会員3/1送付済)

株式会社シンクロン(法人ID:1005):2020年3月31日付で退会

2) 総会・定例理事会・臨時理事会・書面審議

1. 総会

2019年 6月 7日(金) 15:00-16:00 横浜情報文化センター大会議室

2. 定例理事会

2019年 6月 7日(金) 16:00-17:00 横浜情報文化センター大会議室(第1回)

2020年 3月21日(土) 14:00-17:00 産業貿易センター会議室302号室(第2回)

3. 臨時理事会

2019年 6月 7日(金) 14:00-15:00 横浜情報文化センター大会議室

2019年11月29日(金) 12:00-13:10 横浜情報文化センター大会議室(第29回年会)

4. 書面審議

議題: IUMRS協力金の支払いについて

配信: 2019年10月1日(火) 承認: 2019年10月23日(水)

岸本顧問から発議された標記の課題について理事の全員が参加して意見交換をおこなった結果、支払うことに決まった。但し、振り込みの宛先がauthorizeされていないなど送金ができない場合は 保留とすることと、今後については、このような混乱を避けるために、当該会議の主催国のMRSと本部の間でMOUなどに取り交わして予め契約を明文化しておくことをIUMRSの理事会に要望する書面を提出するとした。

後者については、10月下旬に中国で開催された理事会で岸本顧問より、要望書の添付と説明がなされた。

議題: 第29回年次大会奨励賞受賞者一覧(案)について

配信: 2020年1月14日(火) 承認: 2020年1月17日(金)

受賞者の決定について書面審議で諮り、理事全員の承認が得られたことにより、38名の受賞者が決定した。
(手嶋表彰委員長)

3) 日本MRS講演会

2019年度実施せず

ニュース編集委員会

ニュース編集委員長 岩田展幸

31-02号 目次

- 第29回日本MRS年次大会 開催案内
 - ・2019年11月27日(水)～29日(金) 横浜情報文化センター、横浜市開港記念会館 他
 - ・各種締め切り、Trans.Mater. Res. Soc. Jpn. 投稿案内
- 日本MRS創立30周年記念シンポジウム 案内
- Materials Research Meeting 2019 開催案内
 - ・2019年12月10日(火)～14日(土) 横浜シンポジア、横浜産貿ホール(マリネリア)、横浜県民ホール 他
 - ・Plenary Speakers 紹介、Cluster Keynote紹介
 - ・クラスター、各シンポジウム 情報
 - ・第5回E-MRS / MRS-J Bilateral Symposia 開催案内
 - ・協賛学会等紹介、組織委員等紹介

31-03号 目次

- やあ こんにちは「材料開発のパラダイムシフトは起こるのか」
(株)東レリサーチセンター常務理事・IUPAC 賛助会員委員会委員長 石切山一彦
- 研究トピックス
「酸化物イオン伝導体の新材料探索とイオン伝導機構の解明」
東京工業大学理学院化学系 助教・藤井孝太郎、教授・八島正知
- 研究所紹介「あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 瀬戸窯業試験場」
あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター瀬戸窯業試験場
セラミックス技術室技師 高橋直哉
- ご案内
 - ・日本MRS組織・役員等
 - ・第29回日本MRS年次大会
 - ・共催・協賛
 - ・新刊紹介
- To the Overseas Members of MRS-J

令和元年度活動報告

31-04号 目次

- やあ こんにちは 「MRS ネットワークを活用した燃料電池材料研究24 年間」
国立研究開発法人物質・材料研究機構エネルギー環境材料研究拠点上席研究員 森利之
- 研究所紹介 「東北大学多元物質科学研究所 新機能無機物質探索研究センター」
東北大学多元物質科学研究所 新機能無機物質探索研究センター センター長・教授 山根久典
- 研究トピックス「木質バイオマス発電事業における燃焼灰の有効利用に関する調査」
日本MRS エコものづくり研究会代表 芝浦工業大学大学院連携大学院 客員教授 岡部敏弘
- ご案内
 - ・第29回日本MRS年次大会—次世代マテリアルズイノベーションの夜明け
 - ・日本MRS 創立30 周年記念シンポジウム
 - ・Materials Research Meeting (MRM2019)—Materials Innovation for Sustainable Development Goals
 - ・IUMRS-SŌMIYA Award 2019
 - ・IUMRS関連
 - アフリカ材料学会 (the African Materials Research Society (AMRS2019)) 主催、第10 回国際アフリカ材料学会議
 - IUMRS 新委員会
 - ・新刊紹介
- To the Overseas Members of MRS-J

編集委員会

編集委員長 渡邊友亮

Transactions of the Materials Research Society of Japan 出版状況

2019年4月号(44-2)6報 レビュー1報 一般投稿3報

2019年6月号(44-3)7報 レビュー1報 一般投稿1報

2019年8月号(44-4)9報 一般投稿3報

2019年10月号(44-5)8報 全て年次大会関連投稿

2019年12月号(44-6)2報 一般投稿1報

2020年2月号(45-1)5報 一般投稿1報

計37報(2018年度 78報)

うち

・レビュー論文 2報(2018年度 4報)

・一般投稿論文 9報(2018年度 13報)

2020年に入ってからからの論文投稿数(3/31現在):9報

2019年分の論文をまとめたVolume Archive CDを会員向けに送付
(2020年1月完了)

令和元年度活動報告

広報・情報委員会

広報・情報委員長 青木学聡

2019年度会員向け情報配信履歴(2020年3月31日現在)

	配信日	件名	配信先
1	4月1日	【ご案内】IUMRS-ICA 2019 開催について	
2	4月2日	日本MRS論文誌の新号をオンライン公開しました	
3	4月5日	第10回日本学術振興会 育志賞候補者の推薦について	個人会員
4	4月15日	日本MRS事務局移転のご案内について	
5	5月29日	日本MRS定時総会のご案内と出欠確認について	法人・個人会員未回答者
6	6月3日	日本MRS論文誌の新号をオンライン公開しました	
7	8月1日	日本MRS論文誌の新号をオンライン公開しました	
8	9月6日	日本MRS2019年会費お振込みのお願い	個人・学生会員未納者
9	10月2日	日本MRS論文誌の新号をオンライン公開しました	
10	12月3日	日本MRS論文誌の新号をオンライン公開しました	
11	12月10日	【日本MRS】協力学術研究団体対象のアンケート調査協力をお願い	個人会員
12	1月20日	日本MRS2019年会費納入のお願い ※会費未納2年以上:会員資格継続の確認含	個人会員未納者
13	1月23日	日本MRS学生会員の皆様へ次年度資格継続の確認について	学生会員
14	1月27日	日本MRS2019年会費納入のお願い	学生会員未納者
15	2月3日	日本MRS論文誌の新号をオンライン公開しました	
16	2月25日	第17回日本学術振興会賞受賞候補者の推薦について(通知)	法人・個人会員

※全会員に向けてのメール配信

令和元年度活動報告

協賛依頼一覧(2020年3月31日現在)

MRS-J_HP掲載

	掲載方法	会合名	主催団体	開催日	開催場所	備考
1	HP	初心者のための電気化学測定法—基礎編	公益社団法人 電気化学会	R1年6月28日	東京理科大学 神楽坂キャンパス	https://www.electrochem.jp/post_seminar/2842/
2	HP	初心者のための電気化学測定法—実習編	公益社団法人 電気化学会	R1年9月2日、3日	東京工業大学 大岡山キャンパス	https://www.electrochem.jp/post_seminar/2842/
3	HP	11 th International Symposium on Transparent Oxide and Related Materials for Electronics and Optics (TOEO-11)	日本学術振興会第166委員会	R1年10月7日～10月9日	東大寺総合文化センター	http://conf.msl.titech.ac.jp/Conference5/TOEO11/wiki/
4	HP	第4回ソフトマター工学分科会後援会・会員総会	科学工学会 材料・界面部会ソフトマター工学分科会	R1年7月26日	名古屋大学東山キャンパス ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー	
5	HP	高強度金属材料の機能発現機構—転位論の基礎から材料強度化まで—	日本金属学会関東支部	R1年9月4日	東京大学(本郷キャンパス)工学部4号館3階	http://jim.or.jp/
6	HP	2019年度エコマテリアル・フォーラム年会シンポジウム 日本が目指す水素社会とは?—実現に向けた技術とシナリオ—	エコマテリアル・フォーラム	R1年7月22日	千代田区立日比谷図書文化館4F スタジオプラス	http://ecomaterial.org/emfblogs/blog/category/
7	HP	炭素材料学会1月セミナー「エネルギー・環境材料としてのポラスカーボン～未来を拓く古くて新しいカーボン～」	炭素材料学会	R2年1月24日	日本教育会館	http://tanso.org/contents/event/seminar/january_2020.html
8	HP	第18回ナノテクノロジー総合シンポジウム (JAPAN NANO 2020)	ナノテクノロジープラットフォームセンター	R2年1月31日	東京国際展示場	https://www.nanonet.go.jp/japanna/2020/
9	HP	第6回電池材料解析ワークショップ	国立研究開発法人 物質・材料研究機構	R1年11月21日、22日	NIMS並木地区 NanoGREEN/WPI-MANA 棟 オーディトリウム	https://www.nims.go.jp/research/platform/brp/events/hdfqf100000kvt9e.html
10	HP	ナノ学会第18回大会	ナノ学会	R2年5月27日～29日	横浜国立大学 常盤台キャンパス	http://mtg-officepolaris.com/nano18
11	HP	第21回GREENシンポジウム	国立研究開発法人 物質・材料研究機構	R2年3月23日	一橋講堂(学術センター2F)	https://www.nims.go.jp/research/energy-environment/events/20191225.html

令和元年度活動報告

協賛依頼一覧(2020年3月31日現在)

日本MRSニュース掲載

	掲載方法	会合名	主催団体	開催日	開催場所	備考
1	Vol.31 No.3	高強度金属材料の機能発現機構一転位論の基礎から材料強度化まで	日本金属学会関東支部	R1年9月4日	東京大学(本郷キャンパス)工学部4号館3階	http://jim.or.jp/
2	Vol.31 No.3	11 th International Symposium on Transparent Oxide and Related Materials for Electronics and Optics (TOEO-11)	日本学術振興会第166委員会	R1年10月7日～10月9日	東大寺総合文化センター	http://conf.msl.titech.ac.jp/Conference5/TOEO11/wiki/

協賛依頼以外の掲載

	掲載方法	会合名	主催団体	開催日	開催場所	備考
1	HP	2019年度「きぼう」利用テーマ募集	JAXA	募集締切: R1年9月30日	説明会会場: TKP日本橋カルフレンスセンター (R1年9月6日)	http://iss.jaxa.jp/kibouser/subject/invitation/fs/68546.html http://iss.jaxa.jp/kibouser/subject/invitation/elf/68550.html
2	HP	元素戦略磁性材料研究拠点(ESICMM)ポストドク研究員募集	国立研究開発法人 物質・材料研究機構	募集締切: 適任者が見つかれば次第終了	物質・材料研究機構 並木地区	

国立高専機構—日本MRS連携推進委員会

連携推進委員長 佐藤貴哉

令和元年度活動報告

1. 第4回 全国高専生サミット 内優秀発表審査にゲスト審査員(伊熊先生)派遣

場所: 鶴岡工業高等専門学校(山形県鶴岡市井岡字沢田104)

開催日: 2019年9月8日(日)から10日(火) 高専学生: 42名、参加総数: 76名

ゲスト審査員として、全国高専生サミットの経緯をよくご存じの伊熊先生に、MRS-J代表として出席いただき、優秀発表選定にご尽力いただいた。

2件の優秀発表者は、その研究内容を、第29回日本MRS年次大会に招待し、社会実装材料シンポジウムにおいて、学生による口頭発表を行った。

発表テーマ名: 「こんにゃく芋生産の為に土壌開発改良判断キットの開発」(鶴岡高専)

発表テーマ名: 「卵殻を添加することで機能性が誘起する石こうボードの作製とその評価」(米子高専)

2. 第4回 全国高専生サミットにおいてMRS-J連携-高専生向材料科学ワークショップ(WS)を実施した。高専低学年生向けに材料科学への興味を誘うWSとした。

- ・「回折格子による分光実験」
- ・「必ず戻るブーメランを用いた実験」

参加高専生: 20名、講師: 加納先生+他3名

国立高専機構—日本MRS連携推進委員会

1. 高専生サミット内の材料科学WSは非常に人気、反響が良い。簡単なシステム、材料を用いた実験と、実験後に即理解を深めるための座学を行うことで参加学生の興味・関心を獲得している。
高専生のみならず高校生、中学生まで受講対象を広げ、開催地域も増やして実施するための事務局経費、講師派遣経費を獲得するために、「子どもゆめ基金」に申請した。(2019年11月申請、採択結果は2020年4月頃予定)
2. 第29回日本MRS年次大会で、2件のシンポジウム 開催した。シンポジウム名から“高専”を外して、広く発表者を募った。
 - ・シンポジウム名：社会実装材料研究シンポジウム(シンポジウムQ)
 - ・シンポジウム名：バイオ・先端材料関連研究シンポジウム(シンポジウムR)

口頭発表：58件、ポスター発表：54件 合計：112件 の研究発表を行った。
この中には、海外1、大学8、国研1、企業1と高専外からの発表が増加した。
奨励賞7件をMRS-J表彰委員会に推薦。承認された。
次年度以降は高専外からの発表をさらに増やす予定。

国立高専機構—日本MRS連携推進委員会

決算について

- ◆第4回全国高専生サミット(@鶴岡高専)への審査員、WS講師の派遣費用
上記イベント開催のために¥163,239-を支出した。
- ◆MRS-J年次大会への第4回全国高専生サミット優秀発表学生2名+引率教員2名の旅費、
宿泊費(合計¥180,580-)は、年次大会シンポジウム助成金(シンポジウムQ,R合算
¥202,000-)にて充当した。
- ◆上記活動を通して、下表のように高専関係会員が増加した。

	正会員	学生会員	高専関係会員数	会費増
2017年度	+17	+1	51	140,000
2018年度	+15	+4	57	136,000
2019年度	+4	0	56	32,000

IUMRS対応委員会

IUMRS対応委員長 松下伸広

1. IUMRS対応委員会 2020年度 メンバー

委員長*: 松下伸広(東京工業大学)

副委員長: 重里有三(青山学院大学)

顧問: 岸本直樹(NIMS) **IUMRS Treasurer**に選出

鈴木淳史(横浜国立大学)

高井 治(関東学院大学)

委員: 高崎明人(芝浦工業大学)

山浦一成(NIMS)

山本哲也(高知工科大学)

*委員長は、IUMRS-SOMIYA Award委員を担当

2. ICYRAM2020(Warsaw)9/18-20の中止(または延期)とICYRAM2022 (白谷副会長補足)

- ・ E-MRS General Secretary の Prof. Paul Siffert から対応委員長松下宛に2019年12/11付メールにてMRS-Jからの若手研究者団をICYRAM2020@Warsawに派遣する要請あり。
- ・ ICYRAM2018@Adelaideでは若手9名の参加登録費のサポートで総額515,669円拠出しており(参照参考資料)、若手の参加サポートとして60万円の予算確保を検討していた。
- ・ 3/12に細野会長宛にIUMRS PresidentのProf. Yafang Hanより、「ICYRAM2020は中止(または一年延期)」との連絡あり

→ MRS-Jとして、長島一樹准教授(九大准教授)を中心とした若手メンバーでICYRAM2022を九州で開催するべく準備中。開催間隔が一年であったとしてもそのまま2022年に開催することは可能だが、一応議論する必要あり。

3. IUMRS本部への支払い

→ 年会費\$5,000は2019年6月13日支払済。

ICAM2017開催時のDonation \$10,000は2018年度(第6期事業年度)に費用計上するも、支払い先の正当性の問題等でペンディング。

IUMRS対応委員会

4. E-MRSとのBilateralシンポジウム進捗状況について

E-MRS Spring 2021(Strasbourg, France, 5/31-6/4, 2021)に下記の内容でBilateralシンポジウム提案

- ・ Title : “Synthesis, Processing and Characterization of Nanoscale Multi Functional Oxide Films VIII”
- ・ Organizers :
 1. Valentin Craciun (National Institute for Laser, Plasma and Radiation Physics, Romania)
 2. Maryline GUILLOUX-VIRY (Univ Rennes, FRANCE)
 3. Fabio Miletto Granozio (CNR-SPIN, Italy)
 4. Samuel S. Mao (University of California at Berkeley, USA)
 5. Nobuyuki Iwata (College of Science & Technology, Nihon University, Japan)
 6. Hiroaki Nishikawa (Kindai University, Japan)
 7. Tetsuya Yamamoto (Kochi University of Technology, Japan)
- ・ Invited Speakers (tentative)
 - McElwee-White, Lisa, University of Florida, CVD of oxides
 - Hassel, Achim Walter, J. Kepler University of Linz
 - J. Kreisel, Luxembourg Inst. of Sci. and Tech., Strain & phase transitions in oxide heterostructures and ultrathin films
 - Mircea Modreanu, Tyndall National Institute, University College Cork, Ireland: novel functional metal oxides
 - George Volonakis, Oxide Analogs of Halide Perovskites and the New Semiconductor Ba_2AgIO_6
 - Nathalie Jedrecy, INSP, Paris, France
 - Tetsuo TSUCHIYA, National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST)
 - Taro Hitosugi, Tokyo Institute of Technology
 - Hidekazu Tanaka, Osaka University
 - Ariando, National University of Singapore

5. IUMRS30周年記念記事への寄稿 (伊熊理事)

IUMRS PresidentのProf.Hanより細野会長宛に依頼があった。

伊熊元会長が作成され、岸本元会長ほか提供の写真画像を含めた形で提出された。

参考資料 IUMRS-ICYRAM 2018(11月5日-7日、オーストラリア アデレード)での若手支援

日本からの参加メンバーを募り、IUMRS対応委員会 山浦理事 をメンターとして、下記の計9名の若手研究者がMRS-Jからの参加登録費支援を受けて発表を行った。

ICYRAM2018参加費補助一覧

No.	Name	Affiliation	Registration Category	Fee (AUD)	振込合計 (円)	振込手数料 (円)
1	荒船 博之	鶴岡工業高等専門学校	准教授	850.00	0	0
2	辻本 吉廣	物質・材料研究機構	主任研究員	850.00	72,096	432
3	三浦 章	北海道大学	准教授	850.00	72,969	432
4	石井 裕人	北海道大学	学生	550.00	47,051	432
5	松田 晃史	東京工業大学	講師	850.00	73,452	216
6	安井 伸太郎	東京工業大学	助教	850.00	73,919	432
7	久保田 雄太	東京工業大学	学生	550.00	46,895	216
8	Lin Hwai-en	東京工業大学	学生	550.00	46,034	432
9	小川 由希子	物質・材料研究機構	グループ研究員	950.00	80,445	216
			Total Fee AUD	6,850.00	512,861	2,808
				参加費補助合計		515,669

6. 第7回World Materials Summit (WMS) 2019 Oct. 24-25

顧問 岸本直樹

IUMRS 30周年記念式典、非公式GA会議に出席

6-1. 第7回世界材料サミット(WMS2019)およびIUMRSの30周年の祝賀会

日時: 2019年10月24日から26日

場所: 中国浙江省杭州、Jinxi Villa Hotel

内容: IUMRS、CMRS、E-MRS)、浙江大学(Zhejiang Univ.) 材料科学工学部
及び高分子科学工学科の共催によりIUMRS HOが主催。

セラミックス研究所(上海)、中国科学院(CAS)、および中国—
ポルトガル先進材料の共同イノベーションセンター共催。

50人以上の国際的に有名な材料科学者が参集し、2つのトピック
生体材料とエネルギー材料について活発な意見交換と議論。

注) 世界材料サミットは、中国とE-MRSの提唱により第1回が2007年にLisbonで開催され、
2009年蘇州、2011年米国MRS、2013年Strasburg、2016年C-MRS、2017Brusselで不定期に
続けられた。E-MRSはEUにおいて政治的動機によって開催。

N. Kishimoto (MRS-J):

“Energy Materials Research for Society 5.0
and the Materials Education in Japan”



6-2. IUMRS 30周年記念式典、非公式GA会議

日時: 2019年10月26日

場所: 中国浙江省杭州、Jinxi Villa Hotel, MingJiaJu Tea House

内容: IUMRS-WMS and Celebration of IUMRS 30 Years

1. Introduction to HK-MRS Jian Lu
2. Discussion for **IUMRS Future**
3. Discuss Booklet **“IUMRS 30 years”** Geok Chooi
4. IUMRS Commission Meeting

Meeting: Osvaldo N. Oliveira, Naoki Kishimoto, Soo Wohn Lee, P. Hrong

Publication: Ying Wu, Yafang Han, Duan Wang, Jian Lu, Georg. Chen,
Yufeng Zheng, Chengtie Wu

Development: Tao Deng, Byungha Shin, Gabriel Crean, Juan Ramon
Morante, Elton N., Kaufmann, T.P. Peng, Yudi, Darma

Membership: Yuan Ping Feng, Ziqiang Dong, Santi Maensiri

特記事項:

- ①IUMRS-Sg Private Companyに年会費が集まらず、投票Protocolが実行できないため非公式GAとなった。
- ②IUMRS OfficersとCommissionメンバーは、承認されて辞令が発行された。
- ③E-MRSがHOシステムに対して異論を唱えた。E-MRSが持ち越し検討案。

7. IUMRS-EC会議参加 日時： 2020年6月15日

形式： Web会議 Starting time: 2020-06-15 20:00 (Beijing time, GMT+8)

内容：

7-1. IUMRS series conferences, Meeting commission Osvaldo N. Oliveira

1) E-MRS:IUMRS-ICYRAM 2020 is cancelled.

E-MRS will organize ICYRAM2024.

2) Brazil-MRS: IUMRS-ICEM2020 will be postponed to August 29th ~ September 2nd, 2021, Rafain Convention Center, city of Iguassu Falls, Foz do Iguacu, Brazil.

3) IUMRS-ICA2020 will be postponed to Feb.17-19, 2021, at Empress Convention Center, Chiang Mai, Thailand.

4) Call for IUMRS conference of 2024 (Not done)

7-2. IUMRS budget 2020-2021 Treasurer Naoki Kishimoto

1) Annual report of 2019-2020

2) Budget 2020-2021

3) Collection of IUMRS dues of 2020

7-3. Report of edit/publication for the booklet “IUMRS 30 years” Zhiqiang Dong

7-4. Call for IUMRS EC member candidates for next term

7-5. Objections against the present HO Office and IUMRS-Sg Co. Ltd. by E-MRS

○ The General Assembly will be held in September 2020 (probably by Web Conf/)

令和2年度活動報告

IUMRS Income Statement

2019/1/1~2019/12/31

Items	USD
Income	
Annual Fee	38,000.00
Donation	13,143.00
Interest	-
Total Income	51,143.00
Expense	
1. IUMRS-Singapore	
-Bank Charge	438.19
-ICSU Dues	1,497.67
-Travel expenses	1,000.00
-Legal & Professional Fee	1,524.00
-Professional services Fee for incorporation of IUMRS-SG	3,143.00
Website expenses 40,000	
IUMRS 30th Publication 10,000	
Travel expenses 2,000	
Total Expense	7,602.86
Net-Positive(Negative)	43,540.14

令和元年度活動報告

2020 Budget vs 2019 Actual					UNIT: USD
Items	2017	2018	2019	2019	2020
	Actual	Actual	Actual	Budget	Budget
Income					
Annual Fee	29,863.00	39,963.00	38,000.00	40,000.00	38,000.00
Donation	9,975.00	3,000.00	13,143.00	10,000.00	13,143.00
Interest	200.21	141.00	-	141.00	141.00
Total Income	40,038.21	43,104.00	51,143.00	50,141.00	51,284.00
Expense					
-ICSU Dues	1,379.01	1,577.00	1,497.67	1,577.00	1,577.00
-Travel/Conference	4,665.31	3,067.00	1,000.00	-	3,000.00
-Expense for IUMRS 30 Years Special Issue				10,000.00	10,000.00
-Website, Siteground hosting service, domains, fees	539.78	1,292.00	-	1,292.00	1,292.00
-Staff working on website (NU)	24,827.40	60,500.10	-	60,500.00	30,000.00
-Operational Assistance (Driver)	1,740.00	-	-	-	
-Mailing /Shipping, PO Box	132.50	88.00	-	100.00	100.00
-Legal & Professional Fee			1,524.00		1,000.00
-Professional services Fee for incorporation of IUMRS-SG			3,143.00		3,143.00
-Miscellaneous*	291.78	257.90	438.19	300.00	300.00
Total Expense	33,575.78	66,782.00	7,602.86	73,769.00	50,412.00
Net - Positive(Negative)	6,462.43	(23,678.00)	43,540.14	(23,628.00)	872.00

MATERIALS RESEARCH MEETING 2019



MATERIALS INNOVATION
FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

9 Clusters & 36 Symposia

7 Plenary & 26 Cluster Keynote

Statistics of Participants

令和元年度活動報告

MRM2019参加者：1805人（内、海外から307人）

講演総数：1646件

内訳：プレナリー：7件

クラスターキーノート：26件

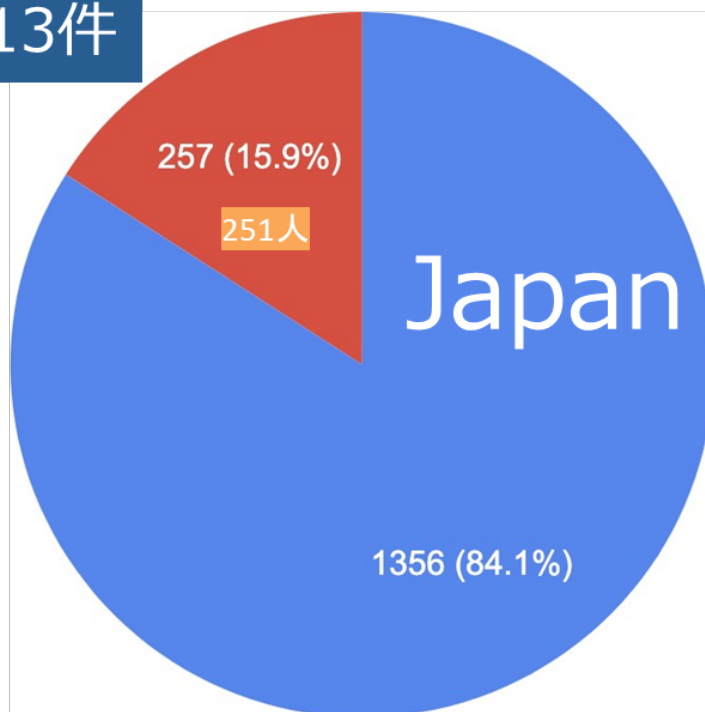
シンポジウムキーノート：42件

シンポジウム招待：442

一般オーラル・ポスター：1129件

一般講演総数（除、プレナリー・クラスターキーノート）：

1613件



ご参考

IUMRS-ICAM2017

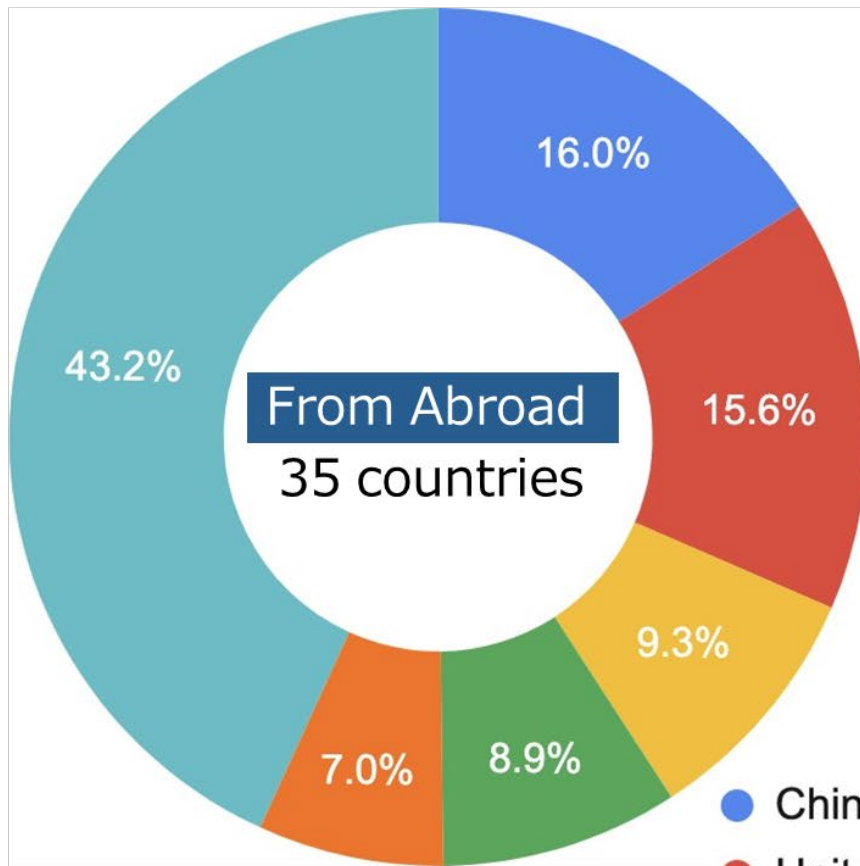
Total: 1878

内、海外から726

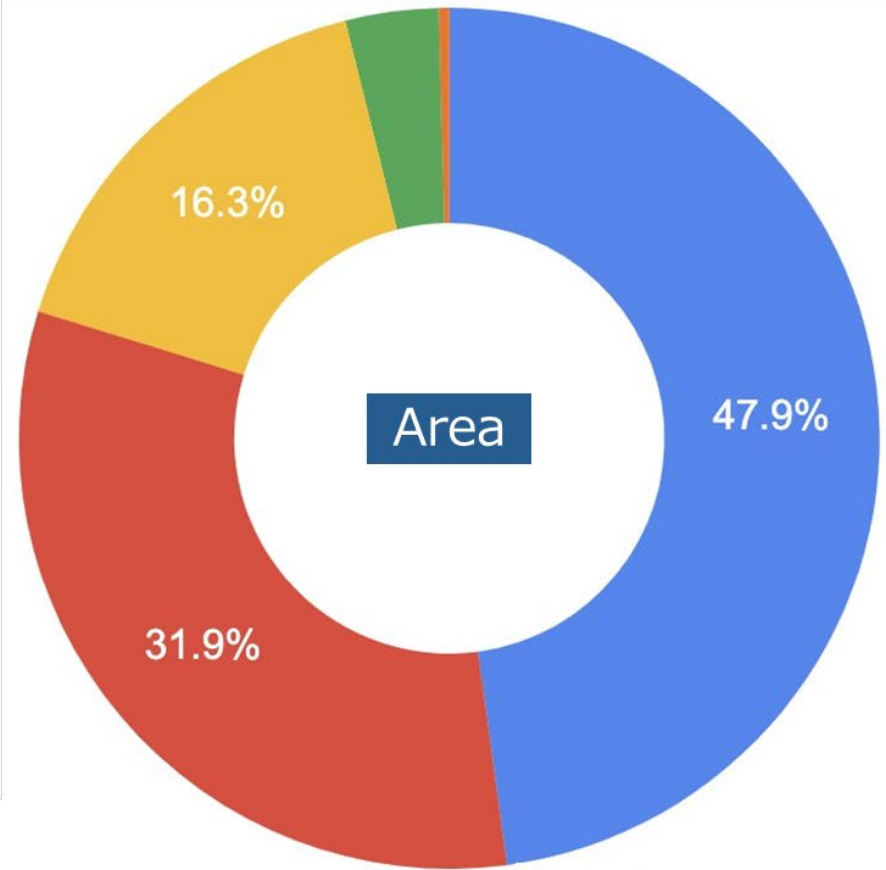
Nation	PaperNo.	Regist. No.
Japan	1356	1287
China	41	40
United States	40	40
Taiwan	24	24
Germany	23	23
South Korea	18	18
Thailand	17	17
France	11	11
Australia	9	9
United Kingdom	9	7
Hong Kong	5	5
Austria	5	5
Singapore	5	5
Italy	5	5
Sweden	4	4
Poland	4	4
Romania	4	3
Jordan	3	3
Netherlands	3	3
Spain	3	3
Israel	3	3
Malaysia	3	2
India	3	2
Switzerland	2	2
Canada	2	2
Slovenia	1	1
Finland	1	1
South Africa	1	1
Greece	1	1
Norway	1	1
Portugal	1	1
Indonesia	1	1
Ireland	1	1
Russian Federation	1	1
Belgium	1	1
Slovakia	1	1

令和元年度活動報告

一般講演総数（除、プレナリー・クラスターキーノート）：1613件の内訳



- China
- United States
- Taiwan
- Germany
- South Korea
- Others



- Asia
- Europe
- North America
- Oceania
- Africa

第29回日本MRS年次大会報告

テーマ: 次世代マテリアルズイノベーションの夜明け

主催: 日本MRS 後援: 横浜市

会期: 2019年11月27日(水)～29日(木)

会場: 横浜情報文化センター、横浜市開港記念会館、万国橋会議センター、
産業貿易センタービル会議室、波止場会館

シンポジウム数: 19シンポジウム(内、国際シンポ3、創立記念シンポ含)

発表件数: 757件(口頭 376件、ポスター381件)

参加者数: 860名(内、海外から11名)

企業展示: 0社、広告掲載: 3社(全体: 1社、シンポ: 2社)、シンポ協賛: 12社

創立30周年記念シンポジウム(11月29日)

記念式典: 吉村 昌弘(東工大 名誉教授/国立成功大学 招聘講座教授)

岸本 直樹(物質・材料研究機構)

東 雄一(自動車技術会 常務理事)

招待ポスター講演(28件)

記念講演会: Robert P.H. Chang (IUMRS 創始者、Northwestern Univ.)

細野 秀雄(東工大・元素戦略研究センター長)

榎 学(東大 マテリアル工学科教授)

真壁 芳樹(東レ 先端材料研究所長)

高原 淳(九大 先導物質化学研究所教授)

第29回日本MRS年次大会奨励賞受賞者一覧

表彰委員長 手嶋 勝弥

No.	sympo	prg_no	presenter_name_j	affiliation_j	papertitle_e
1	B	B-P28-001	于 洪武	東京工業大学理学院化学系	Nonlinear optical measurements of ferroelectric BiFe _{0.9} Co _{0.1} O ₃ thin film
2	C	C-O28-008	岩田 直幸	名城大学	Plant Growth Promotion Effect of Oxygen-Radical-Treated Amino Acids Solutions
3	D	D-O27-008	松本 尚之	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 ナノチューブ実用化研究センター	Effect of electrical current in post-synthetic process on property improvement of carbon nanotube and graphene
4	E	E-O28-002	小野 頌太	岐阜大学	Boltzmann equation and <i>ab initio</i> approaches to ultrafast infrared luminescence in metals
5	E	E-P27-007	越能 光一	横浜国立大学大学院 理工学府	HCl sensing principle of porphyrin functionalized solid-state device
6	E	E-O28-012	日沼 洋陽	千葉大学/物質・材料研究機構	Density Functional Theory Calculations of Surface Oxygen Vacancy Formation in Metal Oxides
7	F	F-O27-007	喜多村 茜	日本原子力研究開発機構	Formation of multiple nanohillocks on SrTiO ₃ irradiated with swift heavy ions
8	G	G-P28-037	渡邊 尚也	神奈川大学大学院理学研究科 理学専攻化学領域	Synthesis of Dibenzo-fused Carbon-Bridged Oligo(p-Phenylenevinylene)s and their High Photostability
9	G	G-P28-025	今井 裕佳理	東京理科大学大学院理学研究科	Precise Synthesis of Ultrafine Biicosahedral [Au ₂₄ Pd(SC ₂ H ₄ Ph) ₅ (PPh ₃) ₁₀ Cl ₂] ⁺ and Elucidation of Their Novel Geometric/Electronic Structure
10	G	G-P28-001	大林 泰貴	兵庫県立大学大学院工学研究科	Microfabrication and Characterization of Bismuth Layer-Structured Ferroelectric Thin Films by Reactive Ion Etching
11	G	G-P28-017	森 優太郎	東京理科大学大学院理学研究科	Creation of Highly Active Water-Splitting Photocatalyst by Combination of Ultrafining of Rhodium-Oxide Cocatalyst and Formation of Chromium-Oxide Shell
12	H	H-P28-006	小松 啓志	長岡技術科学大学	Preparation of Nanoporous Carbon from Rice Husk through Alkali Activation Treatment: A Detailed Mechanistic Investigation
13	I	I-O29-004	高橋 七海	東京理科大学	Wearable dual sensor for simultaneous determination of ion concentration in sweat with a flow channel
14	I	I-P28-012	鈴木 遼	東理大理工	Performance enhancement of biofuel cell anode by modification of aminoferrocene and glucose dehydrogenase to porous carbon electrode
15	J	J-O27-003	山野 宰	同志社大学大学院理工学研究科	Precise synthesis and thermo-responsiveness of amino acid-derived "block sequence-controlled polymer"
16	J	J-O27-007	Babita SHASHNI	University of Tsukuba, Tsukuba, Ibaraki, Japan	Application of Functionalized Gold Nanoparticles for Cytodiagnosis of Hypersialylated Metastatic Cancers
17	L	L-P27-016	高橋 陸	日本電信電話株式会社 パイオメディカル情報科学研究センター 物性科学基礎研究所	Creation of Tough Hydrogel Architectures Towards Obtaining Hydrogel Fluidic Devices
18	L	L-P27-026	山口 瑞稀	宇都宮大学工学部	Interaction Analysis of Extracellular Polysaccharide Secreted from Gram-Negative Bacteria with Modified Gold Nanoparticles
19	L	L-P27-017	渡辺 万祐子	新潟大学大学院/ALCA 科学技術振興機構	Development for Cell Culture Substrate with Variable Elasticity

No.	sympo	prg_no	presenter_name_j	affiliation_j	papertitle_e
20	N	N-O27-005	北村 一晟	名古屋大学大学院工学研究科	Photoinduced Mass Transfer Propagated From a Topmost Photoresponsive Skin Layer
21	N	N-P27-004	齋藤 卓穂	千葉大学大学院融合理工学府	Inversion of Supramolecular Chirality by Photoisomerization
22	N	N-O28-016	井口 弘章	東北大学	Syntheses of Porous Molecular Conductors by Electrochemical Self-Assembly of Coordination Polymers
23	N	N-O28-007	本田 健士郎	信州大学 総合理工学研究科	Controlling the Microstructures of Binary Microgels at the Air/Water Interface
24	N	N-P27-035	臼井 鴻志	東京工業大学 化学生命科学研究科	Photocontrol of molecular alignment in polymer-stabilized dye-doped liquid crystals
25	O	O-O28-003	宇都 甲一郎	国立研究開発法人物質・材料研究機構/日本医療研究開発機構	Cell-Material Interfaces: Influence of Surface Topography on Cell Behaviors
26	O	O-P29-009	本田 健士郎	信州大学 総合理工学研究科	Assembly of Ellipsoidal Microgels at the Air/Water Interface During Water Evaporation
27	O	O-O28-007	三村 真大	筑波大学大学院数理物質科学研究科/国立研究開発法人産業技術総合研究所バイオメディカル研究部門	Liquid-Liquid Phase Separation (LLPS) Caused by Interaction of G-Quadruplex DNAs and Linker Histones
28	O	O-P29-025	西原 諒	国立研究開発法人産業技術総合研究所バイオメディカル研究部門/慶應義塾大学大学院理工学研究科/スタンフォード大学医学部	Bioluminescent coelenterazine derivatives for deep-tissue imaging of molecular events <i>in vivo</i>
29	O	O-P29-012	佐伯 勇哉	千葉大院融合理工	Magnetic behavior of lanthanide-containing self-assembled compounds
30	P	P-O28-018	吉川 祐紀	東京大学大学院工学系研究科	Negative energy elasticity in rubber containing solvents.
31	P	P-P27-013	深尾 一城	北海道大学大学院生命科学学院	Small-Angle X-ray Scattering of Double Network Hydrogels under Uniaxial Stretching
32	Q	Q-O28-005	荒船 博之	鶴岡工業高等専門学校	Characterization of lubrication properties of polymer brushes formed by surface segregation
33	Q	Q-P28-025	渡会 祐馬	鶴岡工業高等専門学校	High Strength and Thermal Stability of Double-Network Ion Gel
34	Q	Q-P28-008	清水 暢之	東京理科大学大学院	Size Controlled Fine Platinum Clusters Loaded on γ -Al ₂ O ₃ Catalysts for Automotive Exhaust Gas Purification
35	Q	Q-P28-022	前田 奈央也	鶴岡工業高等専門学校	Synthesis and Characterization of Anionic Ionic Liquid Type Polymers by Radical Polymerization
36	R	R-P28-019	江頭 巧	九州大学院システム生命科学府	Design of thermo-responsive sustained release carrier capable of controlled release of polymeric micelles based on well-ordered microphase-separated structure
37	R	R-O27-005	嶋田 仁	神戸大学/和歌山工業高等専門学校	Phase Equilibrium Behavior of Bromide Semiclathrate Hydrates with Different Alkyl Chains of Phosphonium Cations
38	R	R-O27-008	高原 茉莉	北九州工業高等専門学校	Cell-surface decoration with lipid-protein conjugates synthesized in an enzymatic manner